

回想法・劇・朗読

2019年 8月26日発行
発行 龍ヶ崎市回想法センター
龍ヶ崎市平台 5-9-7
電話・FAX 0297-65-4443
email: pia-kaiso@etude.ocn.ne.jp
HP: www.piakaiso.sakura.ne.jp

避けて通れぬ道だけど

年を重ねて思うこと

母も、炊事、洗濯、お金の管理、町内会の役員など何でも自分でこなしていたが、入院を境に目を疑うようなことが起こった。兄は困り果て我が



家に母を連れてきた。あの聡明な母の変わりように最初は戸惑い、母を丸ごと受け止め受け入れる

るまで時間を要した。母は、時々頭が真っ白になって何も思いだせないと泣きだすことも。そんな時は、「秘書の私が覚えているから大丈夫。困った時はいつでも秘書の私に聞いてね」と言う。「よかった」と笑みがこぼれ、泣き止んだ。

今まで出来ていたことが出来なくなることはそれは恐怖だったと思う。母がしてくれたことは「ありがとう」と言って、出来ていないところを母に分らないように気付いた家族が直した。年を重ねることは体力も落ちるし、家の中で、地域の中でも役に立たなくなる。私にもその時は来ます。その時は、丸ごと受け止め、受け入れてくれることを願ってがっている。

丸ごと受け入れられる

作家梨本香歩の随筆集『やがて満ちてくる光の』から。作家は小学生のころ毎日図書館で本を借り、寝床で読み、続きを休み時間に読み、授業中も教師の目を盗んで読んだ。試験の日も答案をさっさと書きあげ、本に戻った。

その日、視察にやってきたらしい人が耳打ちすると、担任は「ああ、あの子はああいいう子なんです」と晴れやかにこう返したという。人に



信頼され『丸ごと受け入れられている』感覚が心地よかったと。

一人ひとりには生きて来ただけの歴史があり、物語ある。それらを丸ごと受け止め、じっくり聴いてもらう機会があったら「生きている」実感もだいぶ違って来るだろう。皆、顔や名前が違うように、自分らしい豊かな生き方を続けられるように……。

9月の予定

9月 8日 (日) 映画会	1時30分～	ショッピングセンターリブラ1階
9月18日 (水) 笑顔屋	10時30分～12時	ショッピングセンターリブラ1階
9月22日 (日) 映画会	1時30分～	ショッピングセンターリブラ1階
9月27日 (金) 家族会	10時30分～12時	ショッピングセンターリブラ1階

問い合わせ先 龍ヶ崎市回想法センター